

## 1. 兵役

(※ 関連資料のある箇所は太字で示してあります。)

### 5. シンガポールの第3 船舶輸送司令部南方陸上交通隊

【木田】で、昭和20年ですが、もう敗戦近くなってきたころ私はそこ(資料1-2)に書いてありますように、第3 船舶輸送司令部南方交通隊という、ちょうど私の、まあ幸か不幸か私はそこで参謀部勤務になったものですから、南方全域の地図を見て、初めて、ここがこうだこうだというようなことを教えてもらったことになったのですが、管轄区域というのが、西はインド洋、マレーシアの西の方に若干群島(アンダマン諸島)があります。そこが西の端で、東が、ニューギニアの西半分、地図を見れば一遍でわかるんですけど、名前がうまく出てきりません。南方全域といっても、レイテ島なんかのところは外れていた。

ボルネオからスラバヤからずうっと南方の地域を毎日見て、そして日本の船、船といっても陸軍の船舶部隊ですから、軍人の輸送と病院船の輸送とだけが仕事なんで、その参謀部におったもんですから、そのために内地との連絡、内地の本部は宇品-広島市の宇品にある、宇品との連絡は常時とれておりますし、戦況というのは一番よくわかる状態で仕事をしていたのです。多くの仲間はビルマ戦線に行きました。シンガポールを通過してずうっと。ですから、ビルマ戦線に行くまでに、もう大変苦労して、行っても、何というのか、恐らく不幸なことだった。まあシベリアよりはよかったかもしれませんがね。私はそういう意味では非常に幸いに、戦争というあまり痛い目は直接遭わなかったわけです。ただ、それでも戦争をしていることですから、弾が飛んできたり、敵の潜水艦の攻撃を受けて、こちらの船団はくしゃくしゃになるというようなことをいろいろ経験したりしました。